

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年3月27日

事業所名 ランランランド

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		多機能型として利用児の入れ替わり時間があり密集しないよう工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	6		療育での1対1の人数と医ケア児対応での看護師配置に重点を置いている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		空間は児発管がフロアを見渡せ、スタッフとのコミュニケーションを重視した環境になっている	フロアはバリアフリーで福祉用具などの活用もあるがバギーの置き場所などを入れるともう少し広ければとのご意見も頂き検討が必要と考えている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		2ヶ月に1回施設内・送迎車内の消毒を行う。日々の4S環境整備に心がけている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		日々のミーティングやケース会議、家庭からの要望があった場合など随時話し合い問題解決へとつながっている	ミーティングに参加出来ないスタッフについてオンライン等での参加や二部構成での開催を検討している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		HPへの掲載と意見の集約を行い問題解決へとつなぐようにしている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			全スタッフへの公表の周知を徹底するようにする
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		第三者評価を受けていない。必要性があれば今後は検討する
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2		・令和5年度から研修の機会を十分に確保できる体制の変更をおこなった
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			周知不足は内部研修等で改善していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		看護・機能訓練・療育の観点から児に合わせて行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		季節や五感への刺激を考え場所や道具など工夫している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		個々の生活リズムに合わせて個別と全体での集団活動の計画を作成している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	送迎などで不在のスタッフへは書面(申し送り)で共有している	・前日の準備時間に打ち合わせが出来る体制を整える ・周知不足は今後改善していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	申し送り欄を各自確認し共有できるようにしている	・令和5年度から時間をとって打ち合わせが出来るよう環境整備をおこなった。 ・周知不足は今後改善していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		基本児発管が全て参加するようにし、会議の内容は全員に情報共有している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		必要な関係機関との連携や情報収集を行い支援に繋げている	周知不足は今後改善していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5		必要時常に連携をとっている	周知不足は今後改善していく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6		必要時常に連携をとっている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		併用利用児は関係部署を通して情報共有出来ている	周知不足は今後改善していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			・該当児童不在の為、必要時は連携をとる準備がある。 ・周知不足は今後改善していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2			コロナ禍での制限があり懸念していたが今後は積極的に研修等受けるようにしたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4		コロナ禍で積極的に交流活動を行っていないが機会があれば地域の園との交流を図る機会を作りたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	1		・自治体によっては子育て支援の会合に参加する機会があるがコロナ禍で積極的に参加出来ていない ・周知不足は今後改善していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳や送迎時の伝達や必要時は電話や専用ツールでのやり取りをおこなっている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	1	家族支援が必要な家庭には必要に応じておこなっている	・プログラム化されておらずその都度問題解決の糸口を示す事で実施出来ているが、スタッフが該当項目と認識できておらず周知して今後改善していく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		利用開始時や運営規定変更時に行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		モニタリング・個別支援計画書の交付時同意を得ている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		必要に応じて行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1		・現在父母の会は開催出来ておらず今後の年間計画での実施を周知して行う ・スタッフにも必要性を周知し今後は開催出来るよう体制を整える
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		管理者と保護者で直接連絡が取れる体制をつくり迅速に対応できるようにしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		通信を発行して発信している	通信で不足の面は毎月のお便利にて発信していくよう改善する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			3	・地域住民を招待することは実施できていないが、事業所の存在を周知して貰うよう今後も努力していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		普段から外出の際、呼吸器・吸引機・酸素ボンベ等の機器や必要備品を装備して外出している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			不備な点が多く今後の課題であるため、早急に実施の予定がある
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		必要な項目は確認し把握している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		主治医の指示書に基づく対応はされている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		事例が発生した場合その都度事業所内で共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止委員会を設定している	・非常勤スタッフへの周知不足は今後改善していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		個別支援計画に必要項目を記載している	・非常勤スタッフへの周知不足は今後改善していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。